

- 平成32年度から資格・検定試験（認定試験）、共通テスト、個別試験を通じて、できる限り4技能の評価を行う。
- 認定試験は、CEFRを参考に段階別評価を基本とする。
- 大学において認定試験を活用する場合、以下の方法が考えられる。

活用方法	定義	活用方法イメージ例
①出願要件	<p>■認定試験の結果において、大学が設定した一定段階を超えた場合に、受験資格を付与。</p>	<p>・CEFRに対応したA2を出願要件とする。</p>
②試験免除 (免除されたセンター、個別試験は受験不要)	<p>■認定試験の結果において、大学が設定した一定段階を超えた場合に、個別試験における英語の受験は免除。</p>	<p>・CEFRに対応したB2以上を所有している場合、英語学力試験を満点扱いとし試験の受験を免除</p>
③得点加算	<p>■認定試験の結果を得点に換算した上で、個別選抜やセンター試験における英語の得点に一定の得点を加算。</p>	<p>・CEFRに対応したC2・・・○点 ・ " C1・・・○点 ・ " B2・・・○点 ・ " B1・・・○点 ・ " A2・・・○点 ・ " A1・・・○点</p>
④総合判定の一要素	<p>■認定試験の結果を筆記試験、面接、調査書等の評価の一つとして考慮。</p>	<p>・CEFRに対応した段階について、総合評価に反映</p>

大学入学者選抜における民間の英語資格・検定試験の活用事例

①出願要件

■ ○○大学(一般)

資格・検定試験(試験名とスコア)

下記のスコアを取得していることが出願の要件

TOEFL iBT 40

TOEFL PBT 435

TOEFL Junior Comprehensive 310

TOEIC L&R,S&W 400

英検 準2級

IELTS 3.5

TEAP 160

GTEC CBT 720

GTEC for STUDENTS 500

センター試験

外国語 250点満点

* 他に国語、地歴・公民、数学、理科
計350点満点

個別試験

外国語 ー

* 数学、理科
計300点満点



平成32年度以降の活用事例(案)

活用案

下記の段階を取得していることが出願の要件

認定試験のCEFRとの対応 A2

大学入学希望者学力評価テスト (仮称)

外国語 250点

* 他に国語、地歴・公民、数学、理科
計350点満点

個別試験

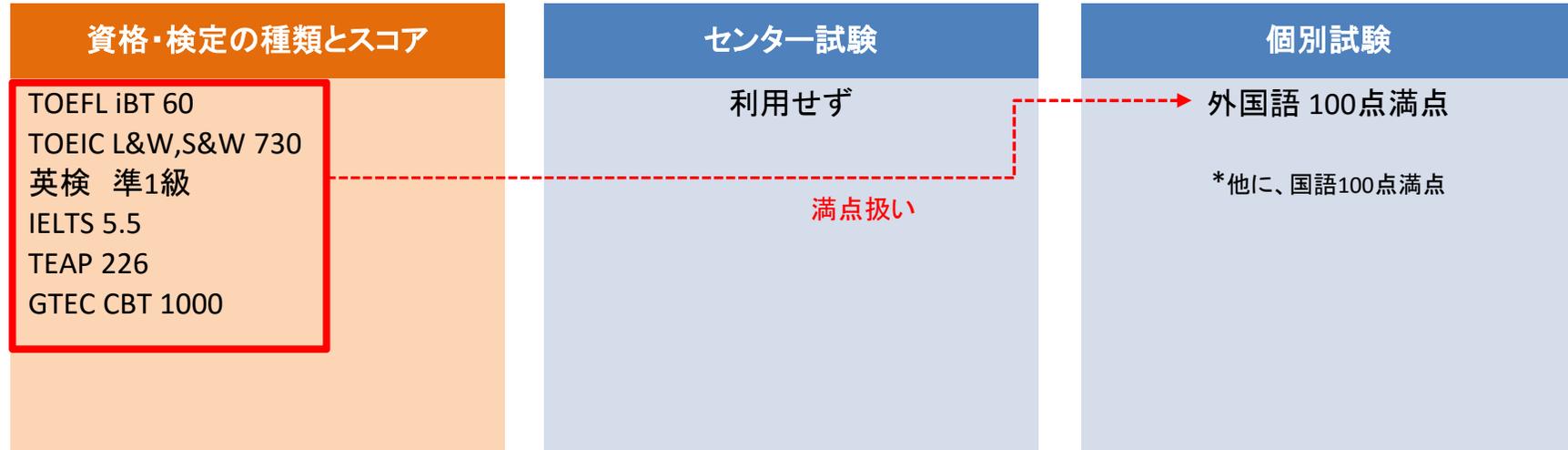
外国語 ー

* 数学、理科
計300点満点

大学入学者選抜における民間の英語資格・検定試験の活用事例

②試験免除(個別試験の場合)

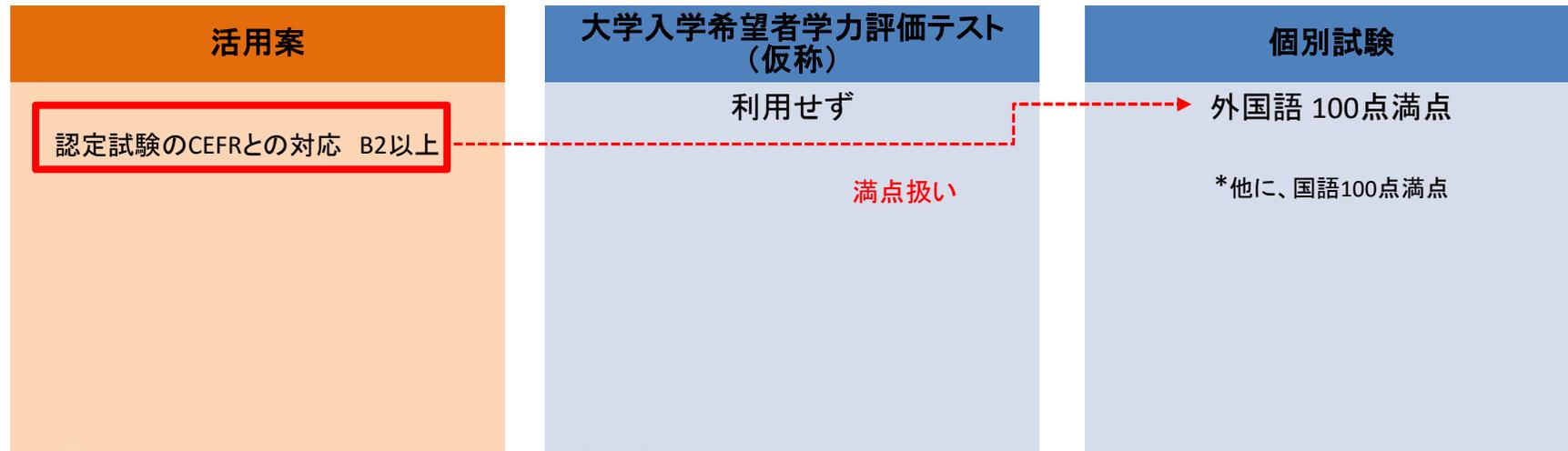
■ ○○大学(一般)



※英語の試験を満点とみなし、試験当日の英語の試験を免除



平成32年度以降の活用事例(案)



※英語の試験を満点とみなし、試験当日の英語の試験を免除

大学入学者選抜における民間の英語資格・検定試験の活用事例

③得点加算

■ ○○大学(一般)

資格・検定の種類とスコア			
	個別学力検査における換算点		
	30点	20点	10点
TOEFL iBT	80	65	45
TOEIC L&W	730	600	460
英検	準1級	-	2級
IELTS	6.5	5.5	4
GTEC for STUDENTS	800	680	560

センター試験
外国語 200点満点
* 他に国語、地歴・公民、数学、理科 計700点満点

個別試験
外国語 400点満点
* 他に国語200点満点

※個別学力検査の外国語(英語)の得点として、満点を上限に加算

平成32年度以降の活用事例(案)

活用例						
	個別試験への換算					
	50点	50点	50点	30点	20点	10点
認定試験の CEFRとの対応	C2	C1	B2	B1	A2	A1

	個別試験への換算					
	200点	200点	200点	170点	150点	100点
認定試験の CEFRとの対応	C2	C1	B2	B1	A2	A1

大学入学希望者学力評価テスト (仮称)
外国語 200点
* 他に国語、地歴・公民、数学、理科 計700点満点
外国語 ー
* 国語、地歴・公民、数学、理科 計700点満点

個別試験
外国語 400点
* 他に国語200点満点
外国語 400点
* 他に国語200点満点

※個別学力検査の外国語(英語)の得点として、満点を上限に加算
 ※段階別表示については、CEFR-Jを参考に、区分で表示することも検討

大学入学者選抜における民間の英語資格・検定試験の活用事例

④ 総合判定の一要素

■ ○○大学(推薦)

資格・検定試験(試験名とスコア)

最終判定時に、下記のスコアを取得している場合、総合評価に反映

TOEFL iBT 95
 TOEIC L&R,S&W 1305
 英検 1級
 ケンブリッジ英検 CAE
 IELTS 7.0
 TEAP 800
 GTEC CBT 1400

センター試験

外国語 ー

個別選抜

<総合評価>

提出書類

小論文

面接

総合評価に
反映

平成32年度以降の活用事例(案)

活用案

最終判定時に、下記の段階を取得している場合、総合評価に反映

	総合評価への換算					
	S	A	B	C	D	E
認定試験の CEFRとの対応	C2	C1	B2	B1	A2	A1

大学入学希望者学力評価テスト (仮称)

外国語 ー

個別選抜

<総合評価>

提出書類

小論文

面接

総合評価に
反映

※個別学力検査の外国語(英語)の得点として、満点を上限に加算
 ※段階別表示については、CEFR-Jを参考に、区分で表示することも検討

英語外部検定試験を利用したAO入試について

AO入試（総合評価方式）では、英語外部検定試験を受験している場合、下記の基準・方法で受験することが可能です。
 なお、英語外部検定試験を受験していない場合でも、受験することは可能です（医学部保健学科の大学院進学型を除く）。

□出願資格を与える方法

学部	学科	専攻	受験区分	募集人員	利用方法	適用区分
医学部	保健学科	看護学専攻	大学院進学型	一般型と合わせて5	出願資格として利用	B1以上
		理学療法学専攻		3		
		作業療法学専攻		4		

□加点する方法

学部	学科・類等	利用方法・適用区分
教育学部	第三類 (言語文化教育系) 英語文化系コース	最終選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受験している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：60点 C1：40点 B2：20点
経済学部	経済学科 昼間コース 夜間主コース	選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受験している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：15点 C1：11点 B2：7点 B1：3点
歯学部	歯学科 口腔健康科学科	第1次選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受験している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：60点 C1：50点 B2：25点
薬学部	薬学科 薬科学科	最終選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受験している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：20点 C1：15点 B2：10点 B1：5点
工学部	第一類 (機械システム工学系)	選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受験している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：20点 C1：20点 B2：10点 B1：5点
	第二類 (電気・電子・システム・情報系)	選考において、下表の基準に基づいて、出願書類に満点の100点を超えない範囲で最大10点加点する。複数の英語外部検定試験を受験している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：10点 C1：10点 B2：10点 B1：5点
	第三類 (化学・バイオ・プロセス系)	選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受験している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：10点 C1：10点 B2：10点 B1：10点
	第四類 (建設・環境系)	選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受験している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：20点 C1：20点 B2：20点
生物生産学部	生物生産学科	第1次選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受験している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：10点 C1：10点 B2：6点 B1：2点

□合否判定の際に評価する方法

学部	学科・類等	利用方法	適用区分
総合科学部	総合科学科	第1次選考及び最終選考において、出願書類の段階評価に反映させる。	B1以上
文学部	人文学科	第1次選考の自己推薦書の段階評価（A、B、C、Dの4段階評価）に反映させる。	B1以上
法学部	法学科 夜間主コース	選考において、小論文（200点満点）、面接（200点満点）の得点及び大学入試センター試験の結果と併せて評価する。	B1以上
理学部	生物科学科	【一般型】 第1次選考及び最終選考において、出願書類の段階評価に反映させる。 【科学オリンピック型】 選考において、出願書類の段階評価に反映させる。	適用区分は問わない

【英語外部検定試験等級又はスコア等基準表】

※各試験団体の公表資料より文部科学省において作成のもの（CEFR）を一部改変

種類 適用区分	Cambridge English	英検 (実用英語 技能検定)	GTEC CBT	IELTS™ (Academic Module)	TEAP	TOEFL iBT®	TOEFL Junior® Comprehensive	TOEIC® L&R 及び TOEIC® S&W
C2	CPE (200+)			8.5—9.0				
C1	CAE (180～199)	1級	1400	7.0—8.0	400	95—120		1305—1390 L&R945～ S&W360～
B2	FCE (160～179)	準1級	1250—1399	5.5—6.5	334—399	72—94	341—352	1095—1300 L&R785～ S&W310～
B1	PET (140～159)	2級	1000—1249	4.0—5.0	226—333	42—71	322—340	790—1090 L&R550～ S&W240～
A2	KET (120～139)	準2級	700—999	3.0	186—225		300—321	385—785 L&R225～ S&W160～
A1		3級— 5級	—699	2.0				200—380 L&R120～ S&W80～